

白川文字学



ニュース

発行 H30.3
福井県教育委員会
生涯学習・文化財課
No11

春が近づいていきますね。

三月になり、いよいよ卒業・進級が近づいてきました。

この冬は例年になく大雪でした。木々が芽吹き、様々な花が咲き始める春の訪れがいつそう待ち遠しいですね。

今回は、自然に関する漢字を紹介します。



岐

7画キ



支は木の小枝（十）を手（又）で持つ形で、枝分かれしたものをいう。岐は、山の分かれ道をいう字で「わかれる、わかれみち」の意味に使う。

白川静『常用字解』より



一年間で20文字の漢字を紹介してきました。
四月からの学習にぜひ役立ててください！



茨

9画 こばら



音を表すのは次。茨は、とげのある低木の総称である「いばら」をいう。中国の古い字書である『説文解字』に「茨は、茅もて屋を葺つ」とあり、茅（スキヤヨシ）に代表されるイネ科の植物）などで屋根をおおう意味にも使う。

白川静『常用字解』より



岡

8画 おか



茨城県・・・昔、黒坂命という人が、古くからこの地方に住んでいた朝廷に従わない賊から人々を守るため茨で城を築いた、または、その賊の住みかの穴に茨のわなを仕掛けて退治したという話から、この地方を茨城と呼ぶようになったといわれています。

約千三百年前に書かれた『常陸国風土記』より



岡と火を組み合わせた形。岡は鋳物をつくるときに使う土で作った鋳型の形。それに火（この字では、山の形）を付け加えて、焼き固めることを岡といい、焼きあがった赤土色の鋳型の意味となる。今は、赤土色の土地が小高くなったところ、「おか」の意味に使う。

白川静『常用字解』『字統』より

金属は、ある温度まで温めると、溶けて液体になる。高温で溶かした金属を、土や細かい砂などで作った型（鋳型）の空洞部分に流し込み、冷やして固めた製品を鋳物と言つ。たとえば・・・

- ・マンホールのふた
- ・お寺の鐘 など



県文化財 剣神社の鐘



県内のいろいろなマンホールのふた

「白川文字学ニュース」では、新学習指導要領で新しく学習する20字の漢字を紹介しました。

- 崎 茨
- 滋 媛
- 縄 岡
- 井 潟
- 沖 岐
- 枋 阜
- 奈 熊
- 梨 香
- 阪 佐
- 鹿 崎